



アリゲーター
フィールドテスター
丸岡直樹

●スタンディング
リードはパワーも
あるし、1.75メ
ートルという長さ
もちょうどよく操
作性も抜群です



▲ドラグを一杯
締め込み、強気の
ファイトで応戦



▶八丈島は泳がせ
ファンにとっては
夢のフィールドだ
ある。

パットパワーに物を言わせ、グ
イグイと魚を浮かせていき、もの
の5分で海面へ浮上させる。3人
が取り込んだカンパチは椎名17キ

トかと思われたが、その後
は反応が見つからなかつた
り、反応はあっても口を使
わない状況が続く。
状況が一変したのは潮変
わり前の午後1時過ぎ、水
深120〜150メートルのカケ上
がりを流しているとき、まず
は椎名にヒット。渾身の合わせを
くれ迎撃態勢に入った直後、スタ
ッフ伊藤にも食った。そして二人
のヤリトリ中に加藤の竿が突っ込
む。なんとトリプルヒットである。
3人もドラグをガチ締めして
のスタンディングファイト。ロッ
ドはセンターから曲がり込むが、
パットエンドまでブランクスの通
ったリアルワンピース仕様のため
ヤリトリを見ていても安心感が



●引きをためていれば
自然と魚を浮かせてく
るパワーがある

最終日となる翌2日目も前日以上の
荒食いが待っておりヒット連続、最大
19キロを含み船中8本のカンパチを釣
り上げることができた。
二日間で計13本のカンパチを仕留め
たスタンディングリード、全員がその
仕上がり十分に手応えを得たものの、
釣行前々日には36キロという大物も釣
り上げられている。さらなるビッグワ
ンを求めて八丈島への再訪を誓うので
あった。

スタンディング リード STANDING lead175

今回使用したロッド、スタンディングリードは専用素材を採用したグラス100パーセントのリアルワンピース泳がせロッド。柔軟な穂先は生きエサの動きを妨げず、スムーズな食い込みを促す。ハリ掛かりしてからは手元から曲がり込むため魚の引きをいなしやすい。ミドルエンドの価格帯に設定したことで初めての泳がせロッドとしてもおすすめ。カラーオーダーも可能。

▲ガイドはHBSG仕様
▲リアグリップはレザーとLTAの2タイプ(写真はレザー仕様)
▲アルミ製のリールシートはカラーも選択可能

■全長:1.75m、継ぎ数:1本、仕舞寸法:1.75m、自重:約550g、先径2.0mm/元径14.0mm、オモリ負荷100~300号、保証ハリス40号、本体価格138,000円(税込価格151,800円)

バトル20GT

BATTLE 20GT

◆大物ファンには定評のあるアリゲーターバトル。泳がせ釣りにはPE12号が300m巻ける20GTがピッタリ。

トかと思われたが、その後
は反応が見つからなかつた
り、反応はあっても口を使
わない状況が続く。
状況が一変したのは潮変
わり前の午後1時過ぎ、水
深120〜150メートルのカケ上
がりを流しているとき、まず
は椎名にヒット。渾身の合わせを
くれ迎撃態勢に入った直後、スタ
ッフ伊藤にも食った。そして二人
のヤリトリ中に加藤の竿が突っ込
む。なんとトリプルヒットである。
3人もドラグをガチ締めして
のスタンディングファイト。ロッ
ドはセンターから曲がり込むが、
パットエンドまでブランクスの通
ったリアルワンピース仕様のため
ヤリトリを見ていても安心感が

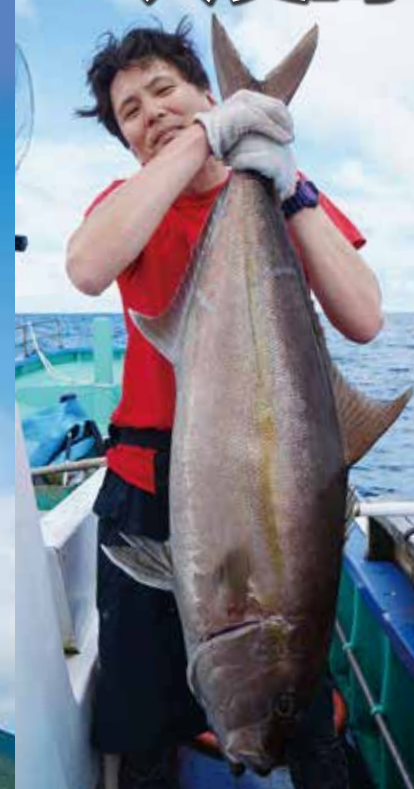
回、伊藤12・5キロ、加藤12キロ(い
ずれも帰港後検量)。
一人乗り遅れた丸岡だったが次の流
し、底上2〜3メートルと低めのタナ
をていねいに探っているときいきなりズ
ドン! 時折強烈な突っ込みを見せる
が、強靱なパットパワーで凌ぎ切る。
取り込んだのは当日最大となる後検量
20キロ。



アリゲーターのALLIGATOR 泳がせNEWロッド STANDING lead175

スタンディングリードで 八丈島のカンパチをねじ伏せる!

これから夏に向けては伊豆諸島周りで泳がせ釣りのカンパチ狙いが絶好のシーズンを迎える。そんな中へ登場するのがアリゲーター技研のニューロッド、「スタンディングリード」。発売前の最終テストを兼ねての八丈島釣行へ同行した。



上州屋
戸塚原宿店
加藤 秀利
●スタンディング
リードは硬すぎず
に扱いやすい。
体に負担がかか
らないので体力
のない人や女性
ファンにも安心
しておすすめ可
します



キャストイング
岩槻インター店
椎名 瑞希
●スタンディング
リードはグリップ
部から曲がるの
で私のように細
身で体力のない
人でもカンパチ
の引きを十分に
められます

アリゲーターは
グラス素材を用いた各種
ワンピースロッドでファン
には馴染みだが、スタンディング
リードはその最新モデル。発売前の最終
テスト釣行としてフィールドテスター
丸岡直樹、販売店の大物担当、上州屋
戸塚原宿店の加藤秀利、キャストイン
グ岩槻インター店の椎名瑞希が向かっ
たのは羽田から飛行機で約1時間、手
軽に大物を狙えるフィールド八丈島。
1日目は幸吉丸にて天候が回復する
のを待つて10時に出船、小岩戸周りに
水深140メートル
のポイントを流
すことしばし。
加藤のロッドに
ヒット。やすや
すと上がってき
たのは5キロの
カンパチだった。
絶好のスター

